

社内留学は、受け入れる側にも学びがある。
新たなヨコの繋がりもでき、おススメです！

毎月1回、社内で「輝くひと」にフォーカスし、社長との対談を通して「そのひと」の魅力に迫る「きらびと」第七号は、松本社長の発案で、下期より運用を開始した「社内留学制度」で留学者を受入れて頂いた、伊万里店の正野奈戸美さんにスポットを当てました。

〔松本社長〕

先日は、日常業務が忙しい中、伊万里店への留学希望者を受け入れて頂き、ありがとうございました！今日はその時の感想など、色々教えて下さい。

〔正野さん〕

はい。今回は鹿島店の澤山さんが、保険事務とスタッフ連携について学びたいとのことだったので、澤山さんに教えることで改めて自分も再確認したと、澤山さんの留学後レポートを読み、逆に私自身、気づきや学びがありました。

〔松本社長〕

なるほど。具体的にどのような気づきや学びがありましたか？また受け入れ側で大変なことはありませんか？

〔正野さん〕

まず、澤山さんとは電話で話したことがある程度でしたが、仕事に対する前向きな姿勢や人柄がわかり、つながりが強くなった点が良かったです。スタッフ連携についても鹿島店と伊万里店の違いや課題も知れたし、他店舗の人から伊万里店や私がどの様に見られているのかもわかりました。私自身、伊万里店のスタッフから頼られていると知れ、意外でしたが嬉しかったです。

〔松本社長〕

それは良かった！私も正野さんは店舗スタッフの皆さんに頼られていると思います。制度自体については？

〔正野さん〕

今回は受け入れ側だったのですが、気づきが多かったの自分自身、本部や大きな店舗へ留学してみたいです。

〔松本社長〕

もっと多くの人に気軽に使って欲しいなあ…。

〔正野さん〕

知りたいことを整理して留学すればスキルアップになるし新たなヨコの繋がりもでき、おススメです！



入社 1996
伊万里店 事務
正野 奈戸美 さん



編集後記

取材後にショールームで松本社長とTwoShotを撮ろうとしていると、男性陣が集まり正野さんの取り合いに…。強引に隣に割って入った小林さんにジェラシーの視線を投げる高尾さんの構図が上のShot。社長もタジタジ。

閲覧ありがとうございます！

